

小学校 5・6 年 道徳

◇学年 小学校 5・6 年

◇主題名 【希望と勇気、努力と強い意志】、【真理の探究】

◇教材 リオ五輪男子 400m リレー

◇主題設定の理由 目標の達成のためには、よりよい方法という真理の探究が必要である。さらに、どのような状況でも希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜く強い意志が必要である。このような目標の設定から達成までの過程において重要なことを理解させたい。

◇参考教材 スポーツ庁「オリンピック・パラリンピックに関する指導参考資料」(pp. 64-65)

◇学習の流れ

	学習内容	学習活動	指導上の留意事項
導入 5分	1. 記憶に残っているオリンピックを思い出しながら、オリンピックがみんなの記憶に残る重要な大会であることを理解する。	1. これまでのオリンピックの中で1番すごいと思う/感動した場面を発表してみよう。	◇児童から陸上競技が挙げられなければ、「これは見たことあるかな？」という流れで2に進む。
展開 ① 20分	2. リオ五輪男子 400m リレーで日本チームが銀メダルを獲得できた要因に巧みなバトンパスがあったことを理解する。	2. リオ五輪男子 100m 決勝の映像を見る。 (https://www.youtube.com/watch?v=siieI9EC2v8 1:16) 3. 映像を見た感想を発表する。 4. リオ五輪男子 400m リレーの映像を見る。 (https://www.youtube.com/watch?v=2RWr2KwBoIY&t=40s 2:34)	◇男子 100m 決勝には日本人選手が1人も残っていないことを強調する。 ◇児童から問い①がでなければこちらから提示する。
	問い1 日本チームは1人も 100m の決勝に残っていないのに、なぜリレーで銀メダルをとれたのか？		
		5. 映像を見た感想を発表する。 6. グループで話し合う。 7. グループの意見を発表する。	◇グループの中で司会と書記を設定し、机間巡視をして発言を促す。 ◇100m の決勝に1人も残っていないことがリレーでの勝利を諦めざるをえない状況であることを強調する。 ◇バトンパスが重要であることを気付かせる。

展開② 15分	問い2 どのようなバトンパスがよいか？		
	3. バトンパスには2つの方法があり、それぞれメリット・デメリットがあることを理解する。	8. バトンパスに関する説明を聞く。 9. 2つのバトンパスのメリット・デメリットを考え、日本チームがどちらを採用したかを話し合い、発表する。 10. リオ五輪男子 400m リレーの映像をもう一度見て日本チームがアンダーハンドパスを採用したことで、スピードにのったスムーズなバトンパスが可能になり勝利に結びついたことを確認する。	◇実践を交えて「オーバーハンドパス」と「アンダーハンドパス」の特徴について説明する。 「オーバーハンドパス」 メリット：バトンを落とす確率が低い デメリット：窮屈な姿勢になり失速する 「アンダーハンドパス」 メリット：失速しない デメリット：バトンを落とす確率が高い ◇1レーン(イギリス)と5レーン(日本)に注目してみるように指示する。
まとめ 5分	4. 「目標の達成＝よりよい方法の探究×あきらめない気持ち」ということを理解する。	11. リオ五輪男子 400m リレーをもとに目標を達成するためには、何が 필요한のかを考えて、発表する。 12. 自分の目標とそれを達成するための方法を書く。	◇リオ五輪男子 400m リレーを通して、よりよい方法の探究とあきらめない気持ちによって目標は達成することができることに気付かせる。 ◇方法は書けるだけ書いたうえで優先順位をつけるように指示する。

◇板書計画

リオ五輪 男子 400mリレー

問い1 日本チームは 1 人も 100m の決勝に残っていないのに、なぜリレーで銀メダルをとれたのか？

みんなの意見

↓

バトンパスが重要

問い2 どのようなバトンパスと走り出しのタイミングがよいか？

	オーバー	アンダー
メリット		
デメリット		

⇒日本チームは（ ）を選択

(目標)の達成=(真理の)探求×(あきらめない)気持ち

勝つこと = 良いバトンパス× あきらめない気持ち